Creative Enzymes®

サッカロマイセス・セレビシエ（Saccharomyces cerevisiae）由来の無機ピロリン酸加水分解酵素、組換え

Cat. No. NATE-1281

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ピロリン酸加水分解酵素（または無機ピロリン酸加水分解酵素）は、1つのピロリン酸分子を2つのリン酸イオンに□換する反□を触媒する酵素（EC 3.6.1.1）です。これは非常にエネルギー放出反□であり、したがって、これらの□換を完了させるために好ましくない生化学的□換に結びつけることができます。この酵素の機能は、脂質代謝（脂質の合成と分解を含む）、カルシウム吸収と骨形成、DNA合成、さらには他の生化学的□換において重要な役割を果たします。
用途	転写反□におけるRNAの収量を向上させる
別名	ピロリン酸ホスホヒドロラーゼ; 無機ピロリン酸加水分解酵素; EC 3.6.1.1; 9024-82-2; iphosphateホスホヒドロラーゼ

製品情報

種	サッカロマイセス・セレビシエ
由来	E. coli
形態	20 mM トリス-HCl (pH 8.0)、100 mM KCl、0.1 mM EDTA、1 mM ジチオスレイトールおよび50% グリセロール。
CAS登□番号	9024-82-2
分子量	71 kDa
濃度	100 単位/ ml
単位定義	1単位は、標準反□条件下で無機ピロリン酸から1μmolのリン酸を生成する酵素の量です（25°Cで100 mM Tris-HCl、[pH 7.2]、2 mM MgCl2および2 mM PPiの反□体積0.5 mlで10分間の反□）。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで